

加盟団体各位
役員各位

(公社) 全日本アーチェリー連盟
理事長 穂苅 美奈子
(公印省略)

事故報告と安全管理の再確認について

2022 年 10 月 9 日 公共射場での事故報告

競技会の最終エンド終了後、的前で選手が得点記録を行っている時、競技を終わった選手(高校生)が撤収作業をしようとして標的の下に設置してあった番号板を回収する際に前かがみになり標的に刺さったままの矢に気が付かず、右目辺りに矢のノックが刺さった。右目右側の瞼と白眼部分を裂傷し出血。発生時は小雨が降っており、急いで撤収作業をしようとしていた。

〈発生後の対応と状況〉

競技委員長が状況を確認、負傷者の所属する高校の顧問とコーチに救急車の要請と顧問より保護者への報告を指示した。救急車と保護者が会場に到着し、病院へ搬送(顧問と保護者同行)。右目瞼を 8 針縫合、白眼にも傷があり一時的に視力は落ちるが、回復の見込み。

2022 年 10 月 14 日 高校練習場での事故報告

矢がそれて校舎の窓ガラスに当たりガラスが破損。
標的後方の防矢ネットを二重にしていたが、部分的にめくれ上がっていた。
防矢ネット自体が重く今までめくれ上がることはなかったが、数日前の強風によりめくれ上がったものと思われる。

〈今後の対応〉

練習前に必ず射場点検を行ってから行射に移ることを徹底する。

選手、指導者、関係の皆様方に再確認です

1. 練習時には、射場の状態を確認し、危険な状況が起きることが無いように点検整備する。
2. 必ず弓具の安全確認を本人に行わせ、弓具の管理を徹底させる。(毎回、矢取りをおこなった後に、矢の破損などがないか確認する。)
3. 指導者・選手とともに安全に対する認識を再度確認徹底する。
4. 試合・合宿時に安全についてのさらなる意識向上と、再発防止について研修を行い、認識を深めていく。

以上